



令和5年1月 発行  
発行者 市民クラブ

〒206-8601  
東京都稲城市東長沼 2111  
TEL 042-378-2111

活動報告

代表:いそむら あきこ



無所属  
akko2031@gmail.com

村上 洋子



稲城・生活者ネットワーク  
inagi@seikatsusha.net

武田 まさひと



立憲民主党  
mas.takeda@gmail.com

新しい一年が皆様にとりまして、健康に恵まれた佳き年となるよう、心からお祈り申し上げます。

昨年も、「今年こそはと、コロナの終息を願う」一年でありました。コロナは収束と拡大を繰り返し、国内での感染が確認されてから 3 年ちかたっても、いまだ終息の兆しが見られません。そのような中でも、市内各地でお祭りやイベントも再開し、まちににぎわいが戻り、地域の中で市民が繋がることの大切さを改めて感じることができました。

今年はいよいよ、私も稲城市議会議員の選挙の年となります。これまでの 4 年間の活動を市民の皆様へ投票というかたちで採点していただけますと幸いです。決意を新たに、市民クラブ一同、引き続き全力を尽くして参ります。本年もよろしくお願い申し上げます。



12月議会報告(11/28~12/16)

「稲城市個人情報保護法施行条例」については国の法改正に伴い自治体の条例の内容が大幅に制限された中、個人情報利用の公表、審議会の設置など最低限必要な内容が盛り込まれたものとして賛成するが、国の個人情報保護の体制やシステム連携は万全ではないので自治体からの提言を堅持すべきと討論をしました。

議案の質疑や討論の内容については、中継から各委員会報告、討論採決をご覧ください。



12議会では公務員の定年の引き上げ、市職員の給与に関する条例改正など21の市長提出議案について質疑がされ、すべて可決されました。

市長提出議案

11月3日  
会派報告会をオンラインで開催

本日の次第

★報告  
9月議会について  
・令和3年度決算  
・各委員会での条例提案

★質問・意見交換  
予算についてのご質問や日常で何かやもやと気になることなど、どんなことでもOKです！

11月6日  
稲城市消防訓練に参加



12月7日  
障害者週間『いなぎの個性豊かな仲間たち』を鑑賞



一般会計補正予算

7億755万1千円増額 (以下、主な予算を抜粋)

項目	内容	予算(千円)
電気・ガス・食料品等価格高騰対策	市内の障害者福祉施設に対して給付金を交付	4,836
	市内の医療機関等に対して給付金を交付	8,300
	市内の保育所等に対して補助金を交付	21,986
	子育て世帯に対してデジタルギフトカードを支給	142,853
	低所得のひとり親世帯等に対して給付金を支給	80,214
	市内の商工業者に対して支援金を交付	20,461
生活保護	生活保護世帯の増等に伴う生活扶助費等の増額	193,919
南山小学校校舎・南山小学校学童クラブ増築工事	南山小学校校舎・南山小学校学童クラブ増築工事に係る工事請負費	100,000
人件費	給与改定、人事異動等に伴う人件費の増額	7,129



議場入口の生け花

令和5年度予算要望

市民クラブとして、令和5年度予算への要望書6分野50項目についてまとめ提出しました。(10月28日提出)

(要望書より抜粋)

1. 第8波の新型「コロナウイルス」感染症拡大に対応した対策
2. 子育て・教育・文化
  - 子育て世代の経済的支援 ● 子どもの権利の保障、意見表明・参加の保障 ● 不登校支援 ● 高校生等の医療費助成の所得制限の撤廃 ● 離婚前後の養育費取決め支援 ● 学校給食食材費補助の継続 ● オーガニック給食の推進
3. 保健・医療・福祉
  - 孤独死、自殺対策 ● ヤングケアラー・若者ケアラーを含むケアラー支援 ● 福祉からしの相談窓口の相談体制の拡充 ● オンラインなどを活用した若者相談の充実 ● 障がい者サービスの充実
4. 環境・経済・観光
  - 脱炭素化に向けた目標と計画の策定 ● 公共施設等での再生可能エネルギーの利用拡大 ● 市内農産物の利用促進や里山保全
5. 都市基盤整備・消防・防犯
  - 公園整備計画の策定 ● インクルーシブ公園の整備 ● 公園のトイレの整備
6. 市民・行政
  - オンライン申請やプッシュ型通知などデジタル化による市民サービスの向上
  - 「書かない窓口」の推進





いそむら あきこ

幼稚園バスの安全対策について

昨年、福岡県の私立保育園に通う園児が送迎バス内に取り残され死亡した事故に続き、今年も静岡県認定こども園において、同様の事故が発生しました。二度とこのような悲しい事故が発生しないよう、市内の幼稚園バスの安全対策を確認しました。

Q. 国から通知された緊急点検及び実地検査の結果について伺う。

A. 園から市に提出された回答を市が確認し、東京都へ提出した。実地検査は、東京都からの実施依頼通知に基づき、令和4年12月に、子育て支援コーディネーターが緊急点検の回答結果について、実際にどのような状況になっているか等を、全ての項目について現地を確認し、東京都へ報告する。

Q. 現在、国において、送迎バスに安全装置の設置を義務付けることなどの再発防止の取組みが検討されているが、その内容は？

A. 令和4年10月12日の事務連絡では、①安全装置の義務付け ②置き去り防止を支援する安全装置の仕様に関するガイドラインの作成 ③安全管理マニュアルの策定 ④子どもの安心・安全対策支援パッケージとして定めた財政措置の4点を国が行うとしている。

Q. 本市は全て私立幼稚園ではあるが、市として子どもの安全管理についての対策は、より積極的に取り組んでいただきたいが、認識を伺う。

A. 各施設における危機管理マニュアルに沿って対応していただくよう周知するとともに、子育て支援コーディネーターによる施設訪問及び巡回指導において、現地に状況を確認し対応する。



武田 まさひと

稲城市立病院の

WiFi整備について

Q. 令和4年第二回で稲城市立病院のWiFi整備について、今年中に設備をしたいという答弁があったが、進捗は？

A. 現在、患者の入院している病棟4階から6階までのWiFi設置作業を行っており、今年中の設置完了を予定している。

Q. 新型コロナウイルスも終息にめどが立たず、お見舞いもままならない状況がしばらく続くものと考え、入院には多額の費用がかかるため、病室WiFiに限らず、無料の提供を望む声があるが、対応は？

A. WiFi機能を提供する事業者が、当院2階の売店にて、利用に必要な2種類のプリペイドカード(1日使い放題250円と7日間使い放題1000円)を、必要な患者に販売すると聞いている。

Q. 患者が持ち込んだWiFiにより、電子カルテや心電図モニタに不具合が起きているなどの電波干渉と思われるトラブルが報告されている。医療機器に影響を及ぼさないWiFiを全病室に整備しても、7日間で1000円では、モバイルWiFiなどの持ち込みの制限がしづらくなるのでは？

A. WiFi機能を提供する業者が必要となる患者に販売するにあたり、WiFiの設備自体は病院の予算で整備している。メンテナンスや機器の入れ替え時の費用は病院が負担することになるのか？

A. 当院のWiFiを使うのか、患者さんが持ち込んで使うのかは、患者さんの選択。プリペイドWiFiの料金は事業者を確認できる機会があったら確認をしたい。設備やメンテナンス費用は当院で負担することになっている。

入院患者にモバイルWiFiの持ち込みやテザリングを利用しないように制限するには、無償もしくは大幅な減額が必要と考えます。患者の負担を減らし、医療機器に影響が及ぶことを避けなければいけない問題の為、これからチェックをしていきます。



村上 洋子

オーガニック給食の推進について

食べ物は体をつくる基本であり、子どもたちが体に良いものを食べて、健康に育って欲しいという思いはすべての市民の共通の願いです。

「オーガニック給食」はイタリア、フランス、ブラジル、韓国のソウル市などの取り組みが広く紹介され、国内でも、千葉県いすみ市、愛媛県今治市、石川県羽咋市、熊本県山都市、長野県松川市、そして東京都武蔵野市などが取り組みを始めています。

農水省は「みどりの食料システム戦略」の中で、2050年までに有機農業の面積を25%拡大することを目標に掲げ、安定した消費先のひとつとして学校給食を挙げ、補助金総額も1億5千万円と5割アップしています。

日本の有機認証制度の基準は厳しいものですが、必ずしもこれ等全ての基準を満たしていなくても、少しでも農業や化学肥料の使用を減らし健康な土壌で生産しようとする努力している生産者や、生産方法が明らかかな市内産農産物など、市独自の判断基準で質の良い食材を確保し、段階的にさらに質の向上を目指す取り組みは可能です。

Q. 稲城市において、市民からのオーガニック給食の要望がこれまでにあつたかについて、また、オーガニック給食が子どもの健康に与える影響について市の認識を伺う。

A. 市民からのオーガニック給食の要望については、令和3年度に、稲城市の学校給食を有機無農薬食材にする会から「稲城市の学校給食を有機無農薬食材にする要望」をいただいている。オーガニック給食が子どもの健康に与える影響については、摂取する残留農薬が少ないことなどが一般的に言われているが、効果については明確に把握していない。(市長答弁)

Q. オーガニック給食の推進のための今後の取り組みについて伺う。

A. オーガニック給食の推進については、安定した供給量の確保や価格面での課題など、多くの課題があることから、現段階では困難であると考えている。

今後、「稲城市学校給食用物資に関する基準」に基づき、安全安心な食材の確保に努めていく。

すべてを一度に変えることはできませんが、毎日の給食の1食からでもオーガニックに変えていくこと、保育園などでも市内産農産物を利用しやすくなることを求めていきます。

会派報告会 & 意見交換会

(ZOOM開催のご案内)

2023年1月29日(日)15時~16時

ZOOM(オンライン)で開催します。たくさんの方のご参加お待ちしております。(傍聴のみの参加も歓迎です)

参加ご希望の方は当日のURLをご連絡致しますので、お手数ですが以下のmailにご連絡ください。

mas.takeda@gmail.com



令和5年4月から  
「プラスチックごみ」の出し方が変わります!  
「ガラス類」・「陶磁器類」

プラスチックごみ  
分別ガイド

「リサイクルに適した」プラスチックごみを  
新たな指定収集袋で収集開始します。  
〜4R+1の推進による循環型社会づくり〜

これからでも間に合う「分別収集」開始に向けてのオープンハウス

長峰	総合体育館ミーティングルーム	1月21日(土)	9:00~12:00
矢野口	矢野口自治会館2階	1月24日(火)	9:00~12:00
若葉台	iプラザ小会議室	1月28日(土)	9:00~12:00
大丸	大丸地区会館1階ホール	2月7日(火)	13:00~16:00
向陽台	城山体験学習館学習室3	2月18日(土)	9:00~12:00

■「プラスチックごみ分別ガイド」が全戸配布されています。これを参考にプラスチックを分別し資源としてリサイクルルートに乗せていきましょう。ガラス・陶磁器も分別回収が始まります。

ごみは減らしてリサイクルで持続可能な地球に!



■プラスチック用の指定収集袋は水色です! → ※1月上旬より順次販売。



■プラスチックの収集は週1回ですが、地区によって異なります。収集曜日は全戸配布される「令和5年度版ごみ・リサイクルカレンダー」でご確認ください。

